

ハラヴェン単独療法 (Eribulin)					
		Day			
薬剤名	用法用量	1	8	15	21
ハラヴェン (Eribulin)	1.4mg/m <sup>2</sup> 静注(2~5分)	↓	↓		

3週間ごと PD (憎悪) まで

**【前投薬】**

デキサメタゾン静注6.6mg (Day1、8)

**【基本事項】**

転移・再発症例

- ・ StageⅢB~Ⅳ、または再発症例に適応。
- ・ アントラサイクリン系薬剤、タキサン系薬剤への不応症例に対する三次以降の治療として効果が期待できる。
- ・ 海外PhaseⅢ試験は2~5種類の前治療を受けている患者を対象に有用性を示している。

**【レジメンポイント】**

①投与基準

下記の条件を満たさない場合、投与を延期する

好中球数：1,000/mm<sup>3</sup>以上、血小板数：75,000/mm<sup>3</sup>以上、非血液毒性：Grade2以下

②減量基準

全コースにおいて以下の副作用などが発現した場合、減量したうえで投与する

7日間を超えて継続する好中球数減少 (500/mm<sup>3</sup>未満) ・ 発熱または感染を伴う好中球数減少

(1,000/mm<sup>3</sup>未満) ・ 血小板数減少 (25,000/mm<sup>3</sup>未満) ・ 輸血を要する血小板減少 (50,000/mm<sup>3</sup>未満) ・ Grade3以上の非血液毒性・副作用などにより、2週目に休薬した場合

③投与再開基準

投与延期後1週間以内に上記の投与開始基準を満たした場合、減量して投与する。

④休薬基準

投与延期後1週間以内に上記の投与開始基準を満たさない場合は、休薬する。

⑤減量の目安

減量段階	通常投与量	1段階減量	2段階減量
投与量	1.4mg/m <sup>2</sup>	1.1mg/m <sup>2</sup>	0.7mg/m <sup>2</sup>

⑥腎機能低下症例に対する減量の目安

減量段階	> 50	30~50	<30
投与量	1.4mg/m <sup>2</sup>	1.1mg/m <sup>2</sup>	使用経験なし

⑦肝機能低下症例に対する減量の目安

Child-pugh分類	投与量
Class A	1.1mg/m <sup>2</sup>
Class B	0.7mg/m <sup>2</sup>
Class C	使用経験なし

**【主な副作用】**

末梢神経障害、脱毛